

## 町議会政治倫理規定 ことし4/1から施行

昨年来、議員発案により検討が進められてきた「寄居町議会政治倫理規程」が、議会運営委員会、議員全員協議会での論議を経て、平成21年4月から施行されました。

### 議員一同、意を新たに

その内容は、

寄居町議会議員が町民の厳粛な信頼を受けた立場にあることを認識し、町民全体の奉仕者として政治倫理の確立と向上に努め、常に良心に従い誠実かつ公正にその職務を行うことを促し、もって清浄で民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。(第1条)

として、寄居町議会議員としての政治倫理基準を定め、これに反することのないよう各議員が努めるとともに、これに反したと思われる事案について、町民・議員から審査請求ができる旨の手続を定めてあります。

本規程の整備とともに、当議会議員の活動が、より一層町民の皆様のご理解の中で公正かつ円滑に推進できるよう、議員一同、意を新たにしていきたいと思います。



寄居町議会 本会議風景

## 3/26 寄居町議会 ホンダ工場 立地支援委員会報告

ホンダ寄居新工場の稼働開始時期をさらに1年以上延期するという発表があった旨の報告を町長より受けました。

### 町長より説明を受ける

主旨は以下のとおりでした。

寄居新工場は、2010年の立ち上がりを予定していたが、昨年後半からの全世界での市場の落ち込みを受け、既に昨年12月に1年以上の延期を決定していた。その後も市場回復の兆しが見えないことから、稼働開始時期をさらに1年以上延期することにした。



昨年12月の状況報告の様子

### 議会も町と共に支援を継続

町議会としては、町長の「更なる稼働延期は、厳しい世界経済状況、さらには自動車業界の業況を踏まえた判断であると推察する。寄居町としては、早期の操業開始を願い、引き続き、議会、町民とともに全面的に支援をしてまいりたいと考えている」とのコメント内容について了承し、今後、共に支援を続けながら、1日も早い稼働開始を期待するところです。

## 2/17 小川町議会との交流会 合同でホンダ工場視察

ホンダ寄居新工場の工事が着々と進む中、寄居町議会議員全員で、新築完成したホンダの寮、ホンダ寄居新工場建設現場、小川エンジン工場を視察した後、小川町議員団との第4回交流会を行いました。

### 完成したホンダの寮

ホンダの寮は6階建てで、食堂・浴室をはじめ、すべてが完備された252室のすばらしい寮の完成を目にしました。

### “着々と進む”ホンダ工場

また寄居新工場では、建築工事が着々と進んでいる様子を見学。続いて小川町議員団と合流しての小川工場見学では、工場内撮影禁止の中、エンジンをつくる巨大な設備機械が取り付けられている最中でした。

その後、小川町内で両町の町長・副町長・教育長・議会事務局を交えての懇親会は、和やかな雰囲気、有意義な交流会となりました。



上：ホンダの寮(寄居町用土)  
下：ホンダ小川工場外観

## 2/13 正副議長・事務局 議会改革研修に出席

埼玉県内30町村の正副議長と事務局長を対象としたこの研修は、埼玉県自治会館で行われました。

### 豊かな財源の町、葉山

講師に神奈川県町村議会議長会会長である笠原俊一氏を招いての「葉山町における議会改革」の講演。葉山町は人口約3万3,000人。一般会計予算の規模は約88億円で、自主財源78.7%。町民税は58億円で、そのうち個人町民税が38億円という豊かな財源の町です。

昼間の地域活動を支えているのは女性が多く、議会でも議員17名中6名が女性議員とのことでした。



### 町民の声がきっかけに…

議会改革の取り組みのきっかけになったのは、町議選挙の投票率が町長選挙より低くなってしまい、町民の一部に議会不要論まで出てきてしまったこと。

改選前より検討を始め、平成19年の議員改選後から本格的に取り組み、検討会や研修会を重ねてきたとのことでした。

今後は、議会基本条例の制定に向けてパブリックコメントを実施して町民の意見を募集し、平成21年6月の制定を目指しているとのことでした。

なお、葉山町は通年議会で、年間80～90日間開催され、議長は常勤しているそうです。

現在、議会改革に取り組んでいる我が町にとって、大変参考になる研修会でした。